

3 宇部市民のひとりとして

かつて、アメリカ合衆国のケネディ大統領は、就任演説において、アメリカ人がみな「アクティブ・シチズン」である必要を語りました。「祖国があなたに何をしてくれるかを尋ねてはなりません。あなたが祖国のために何をできるか考えて欲しい」と演説したそうです。

この言葉を「宇部市」に置き換えると次のように言えるでしょう。「宇部市（市長・市議会議員・市役所職員など）があなたに何をしてくれるかを尋ねてはなりません。あなたが宇部市のために何ができるのかを考えて欲しい」です。

私たちは、毎日の生活に不平や不満を言うばかりで、他の誰かのために役に立つことを後回しにしがちです。いったい、中学生として、宇部市民の一人として、将来の有権者として何ができるのかを考えてみてほしいと思います。

例えば、「住んでいる地域にあまり元気がない」という声に対して、あなただったらどのような対策を提案しますか。宇部市でも市長や市役所職員に対して、さまざまなアイデアを提案することができます。

ちなみに、昨年度は、約200人の市民から300件近くの市への要望や提案が行われたそうです。これらに対して、約半数のものは、市の取組にいかされているそうです。

また、最近「地域コミュニティ」の役割が見直されています。地域コミュニティとは、自分の住む地域に対する前向きで、共通の思いを持つ、地域住民ひとりひとりの共同体のことを指します。

情報化や少子高齢化による社会情勢の変化、または地方分権の推進や市町村合併などの様々な要因に影響を受け、地域を取り巻く状況が変わってきています。その中で、地域社会は新たな課題に次々と直面する一方、地域組織の弱体化や住民のコミュニティとしての意識の低下という現状に悩まされています。住民同士の信頼関係や共同意識を生み出し、地域の力を再生・強化することは、日々の暮らしをよりよいものにする重要な基盤となります。“地域みんなで力を合わせ、考え、行動し、より住み良い地域にしていこう”という思いや願いが、よりよい地域コミュニティ活動につながっていきます。

最後に、宇部市民の歌を紹介します。歌詞は市民から公募され1962（昭和37）年につくられたものです。このような町であってほしいという願いが込められていると思いませんか。



□宇部市民の歌□

- 1 うるわしいみどりのまちに 人びとのあつまる広場 こだまする平和のこえよ
われらのきずく宇部 宇部のまち
- 2 たくましくのびゆくまちに 若ものはたらく職場 わきあがる希望のうたよ
われらのきずく宇部 宇部のまち
- 3 やすらかにくれゆくまちに 親と子のよりそう家路 ともされる明日へのひかり
われらのきずく宇部 宇部のまち